

報道関係各位

2021年9月28日(火)
北海道エアポート株式会社

韓国・仁川国際空港公社と 「北海道内7空港・仁川国際空港線の利用促進等に関する業務協約」を締結しました

北海道エアポート株式会社（略称：HAP、本社：北海道千歳市、代表取締役社長：蒲生猛）と仁川国際空港公社（略称：I I A C、本社：韓国・仁川広域市、社長：金景旭）は、2021年9月28日(火)、HAPが運営する北海道内7空港(※)と仁川国際空港間の航空路線の新規就航および利用促進に向けて、相互で連携を行うため、「北海道内7空港・仁川国際空港線の利用促進等に関する業務協約」（以下、本協約）を締結いたしました。

※北海道内7空港：新千歳、稚内、釧路、函館、旭川、帯広、女満別

今後、本協約に基づき、両社では以下の内容について連携、協力して取り組んでまいります。

1. 同路線を活用した旅客・乗継および貨物増大に向けた共同マーケティング
2. 北海道、韓国の観光および航空輸送ならびに空港運營業務等に関する情報交換

HAPが運営する北海道内7空港については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、2020年4月以降、国際線全定期便（旅客便）が運休となっています。両社は、本協約に基づき、今後まず新千歳－仁川路線の復便に向けて共同で取り組むほか、両地域の地域情勢等に関する定期的な情報・意見交換などを通じて連携することで、北海道の航空ネットワークの回復・発展に貢献してまいります。



▲オンライン形式で協約を締結したHAP蒲生（左）とI I A C金社長

<本件に関するお問い合わせ>

総務・人事部 広報課 0123-46-2990（代表）